

すいたくしんぶん

Medical & Welfare

発行

さくらメディカル(株)

〒943-0141 上越市子安 1378 番地

Tel (025) 522 - 3391

編集・協力

たかだ越書林

あけましておめでとう
ございます。去年の一月
に入社し、ちょうど一年
が経ちました。私の仕事
は福祉用具のモニタリン
グです。三ヶ月に一回ご



新潟支店営業課 皆川かおり
福祉用具専門相談員

励みは
「助かってます」

利用者様のお宅を訪問し、
福祉用具の利用状況の確
認やメンテナンスを行っ
ています。この一年間は
仕事を覚えるのに必死で
あったという間に過ぎたよ
うな感じです。ご利用者
様やご家族の方の「福祉
用具のおかげでとても助
かっています」という声
が励みとなって、一年間
を乗り切ることができま
した。今年はもっと商品
知識を増やして、敏速な
対応ができるように頑張
ります！

あけまして おめでとらーごらいます

さくら
メディカル

平成二十年戊子 年女・年男の初夢



魚沼営業所 小田原 崇
福祉用具選定技能士

レンタル用具で
信頼関係

福祉用具のレンタルと
いう仕事をしていて感じ
ることは、体調が原因で
困っている方が多くいら
っしゃることと、その
ような方々にとってより

良いかたちを考えてご提
案していくことです。ご
利用者様と本気で向き合
い、その方の力になろう
！という気持ちや行動か
ら生まれる信頼関係を築
くことが一番の目標であ
り、そして、喜びとなっ
ています。多くの出会い
から生まれた信頼関係の
一つひとつが今の私の財
産となっています。今年
もそんな一期一会の気持
ちが変わることなく感じ
られるような一年にしま
いと思っています。

高齢化社会が進み、家
庭での介護が多くなって
きました。治療が優先さ
れる病院に対し、家庭で
は介護が一番重要で
「訪問入浴はいいよ」と



訪問入浴課 岩崎 恵子
看護師

心も体も和む
訪問入浴

いう知人の話を聞いた程
度で何も知らずに飛び込
んで半年が過ぎます。ご
自宅を訪問するとご利用
者様やご家族の方が入浴
を心待ちにしておられま
す。「毎日風呂に入り
たい」とか「今日は気持
ちが良かった」、「ありが
とう」などと笑顔で接し
てくださり、この仕事を
選んで良かった！と思い
ます。寒い時季、ご利用
者様が気持ちよく安心し
て入浴できるように今年
も頑張ります。



本社建築課 竹内 和男
二級建築士

木造耐震の
知識を生かす

新年あけましておめで
とうございます。私は、
昨年五月に入社し、住宅
改修を担当しています。
入社して約半年、毎日が
新しい経験ばかりで目の

前の仕事に追われた状態
でした。今年の夢は、現
在手がけている大きな仕
事をきちんと仕上げ、お
客様に喜んでいただける
ような建物を完成させる
ことです。また、ライフ
ワークでもある木造耐震
の知識を生かした自分の
家を建てることです。○
回目の年男となる今年は、
忙しい毎日ですがお客様
第一で精一杯がんばりま
すので、どうぞご指導ご
鞭撻のほどよろしくお願
いいたします。

私の職場は、昨年十一
月に開設しました「あ
らい介護センター」です。
十一月に入社し、センタ
ー長や課長にご指導いた
だき二ヶ月が経ちました。



あらい居宅支援課 竹内 昌子
介護支援専門員

家族の介護の経験を

入社したばかりですが、
逃げも隠れもできない
四度目の年女という
ことでこの原稿に大当
たり。昨年は悲しいで
きことが多い一年でし
たので、今年はたくさ
ん笑って一年を過ごす
ことが夢です。そして、
私自身の家族の介護を
通じて学んだことや気
づいたことを生かして、
ご利用者様に寄り添え
るケアマネージャーを
目指しています。よろ
しく願います。



高田訪問介護課 武藤真由美
介護福祉士

寄り添う介護を

亡き祖父の介護がきつ
かけで、専門学校へ通い、
介護福祉士の資格を取得
ヘルパーの基本技術や知
識だけでは通用しない現
実に戸惑い、悩み、未熟

な自分への苛立ちを覚
えたこともありました。
「若いね…」といわれ
て、悔しい思いもしま
した。けれども「若い
からこそできることも
ある。最初から完璧な
人なんていないのよ」と
いうご利用者様からの
温かい言葉やご家族か
らの感謝の気持ち、上
司や同僚の支えで、今
の私がここにいます。
今年も日々の変化に応
え、寄り添う介護をし
ていきたいと思っています。

聞かせるのは若い怪炎

平成二十年二月五日

満百歳の田中清三郎さんに 1世紀を生きたお話を聞く

百歳を迎える上越市昭和町二の田中清三郎さん（明治四十一年一月五日生まれ）は心不全などで一時入院はするもののいたって元気です。癌が見付かつてはいますが、同昭和町一の相澤内科医院より、ターミナル医療で随時の往診と訪問看護が入り万全の体勢の中、余生を楽しんでいる風も見受けられます。

十年前奥さんが亡くなってからは、お子さんのいない田中さんはひとり暮らしで、上越市大町四でうなぎ屋を経営している甥の堀越さん夫婦に介護の援助をしてもらっています。特に堀越さんの奥さん・則子さんは介護に献身的で、二十四時間体勢で面倒を見ているとのこと。

そんな「在宅介護」のモデルケースともいえるべき語調の乱れもない田中さんに、百歳の感想を語っていただきました。

●長生きの秘訣

——もうすぐ百歳ですね。

ええ、一月です。生まれたのは高田市（現上越市）の本町七丁目の曲がり角、昔は下紺屋町っていった。今は秋山菓子屋になっています。

——お元気ですね。長生きの秘訣は何ですか？

まあ別に自分でどうこう工夫したわけでもなし、自分で開拓したわけでもなし、自然とこうなったわけです。強いていえば、食事で、好きなもの食べてあるがままに過ごしているからでしょうか。最近朝は抜きますが、そ

の日の始めの食事は、だいたいおでん。卵二つと、こんにゃくとか、大根。まあそんなところです。

入れ歯になったのは仕方ないのですが、昔から甘いものが好きだから、先に歯がやられちゃって。こどもの頃は朝昼晩食べていましたけど、ある時期きたら、朝めし抜きにした方が体にいいといわれて、その頃流行っていた西式健康法を取り入れました。それは、太陽が頭の頂点にきたときに人間の体が活発になるからその時に食べればいい、その前に食べなきゃならんってことはないっていう健康法さ。人間働くか

ら腹が減る、だから、空腹でもないのに無理して食べる必要はない。朝めし抜きにしても、昼めしで太陽がちょうど頭の上にきた時に食べればいい。そして夕飯食べて、二食にすればいいという三十歳の頃からそういう風にやってみたりしたけど、今まで体調はいいです。これが、百まで生きてこれた証拠でしょうか。

——西式健康法が効いたというわけですかね？
まあ、そうなんですかね。それがいいって事を聞いて、ずっと続けていた。結局、この歳まで生きてきたから、それがどうか、知らないけどね。

●若い頃

——小学校はどちらでしたか？

今の大町、昔は第三つて言ったもんです。悪ふざけばかりしていたね。悪ガキのせいかな、先生に怒られてばかりいた。あの頃の先生はいうこと

食べる我ままさ！

元気、元気、元気の源は



百歳？

そんなもの

胸にお祝いの赤い花をつけて
さくらメディカルのスタッフと
何時来たね。

きかなければ竹の棒持つて教室まわってぼんぼん叩いていた。座禅じゃないけど、竹の棒でパーンパンと叩かれたものです。だから先生の目の行く先にいると、ピリピリしていた。今はそんなことしたら父兄から逆に怒られてしまう、あべこべだね。

おりました。
長岡は資産家が多いんで、漆器とか陶器など高級な美術品の需要があるんです。学校の先生の月給が五十円の時代で、置物の大きな花活けが三万円、たまげましたね。そういう仕事をしていて、高田へ帰ってもお客なん

旧制中学校は、商工学校へ行ってました。

——それで、実社会へ入られたわけで、ご商売は何ですか？

まあ、そのうち戦争になっていろいろ変わったんですけどね。

学校が終わって、長岡で、漆で時絵を作るような、芸術的な仕事をして

てつくはずないと思っていました。結局、高田へ帰ってきましたが、そのとおりでした。世の中には金持ちがいて、そういうものを作る人がいるってだけのもんで、私にとって無縁なことだと思って、諦めました。

昭和の始めの頃でした。二十代の頃かな。上越線ができてから長岡で博覧会があったんです。上越線が開通した祝いです

ね。それまでは新潟から東京へ行くには高田経由で、長野を通って行ったもんです。上越線ができてからは、長岡から上州を通って東京へ行けるようになった。非常に便利になったという実感をもりましたね。

●赤紙一枚の戦争

——血気さかな頃ですね。高田に帰られて、何をしていましたか？

帰ってきててもそんなにいい仕事もないですね。そのうち戦争が始まって。戦争は、徴兵検査があります。甲種、乙種、丙種があって、私はその時丙種だったから軍人の籍に入らないでよかったんです。太平洋戦争になってから、終戦間際になっ

て初めて軍隊の経験をしました。

人間もいなかったんじゃないかな。私はもうこないもんだと思っていたら、終戦の一月前程に赤紙がきたわけですね。

徴用の赤紙が来た時は勤めで金沢に一月くらいいるうちに、召集令状がきたんですね。

それが七月二十日で、その八月十五日に終戦ですよ。だから信州の山の中で棒持って、鉄砲の真似事して訓練していたら、終戦で連隊もくそもない。戦地に行かないでそのまま終わりです。山の中で訓練してただけですから、生き残ったんですね。その寿命が延び延びになつて今日まで達したわけですね。戦争に行っていたら、今ごろは、到底百歳なんておぼつかないことでしょうね。

●趣味は将棋

——将棋はお強いそう。何段くらいで、いつからやり始めたんですか？

十代の時分から、縁台将棋……まあ、夏なんか夕涼みがてら縁台出してくて、外で将棋したもの。何段なんてもないじゃないですね。正式に

段を認定してもらったことではないんだけどね。今じゃもう歳とったからだめなんだけどね、まあ、二段くらいあったかね。毎年春日山荘で碁と将

棋の大会があって、将棋の部ではその年優勝した人に大きいトロフィーを一年間貸してくれるんだけどね。小さいのはもらいきりで、賞状なんて紙

でしよう、取っておいてもしようがないから燃やしちまったよ。いろんな所に将棋指しに行ったり大会に出さしてもらったりしてきました。

ところで、今百歳の垂れ幕つけてお祝いしたわけなんですけど、やっぱり百歳となると並大抵のことじゃできない。奇しくも田中さんが「まあ、百歳まで生きようと思って自分で努力したってなかなか、それはできません。人間寿命がありますからね」といっておられます。それは、本人の努力はともかく周囲の人の愛情も力になっていると思います。そこで、その脇を固めていただいた、甥の嫁でもある、うなぎ屋「富喜寄」の堀越則子さん、当社ヘルパー板倉、ケアマネ西脇の三人に田中さんの「百歳」を語っていただきます。

食べる喜び

――今まで食事は堀越さんが作っていたんですか？

堀越 いいえ、病気になるまではおじさん（田中さん）がテレビ見たり本見たりして自分で食事作っていたんですよ。寿司でもなんでも作りました。今は百歳だから、自分で作らんけど、「昨日は鰯の煮たの。今日はすきやき」食べたいものいえぱヘルパーのみなさんとか私らがつくってくれる。

田中 そういうわけですから、協力してくれる人がいるから、ほしければ買ってきてもらえる。

堀越 あとは食堂で食べて食べたね。うなぎも大好き。どうもうも大好

き、ね。あんころもちが大好きで。あずきが好きだね。甘いもの、毎日食べているよね、あんころに、瓦せんべいね。

板倉 瓦せんべい食べるから、ベットの脇にいっぱいいちらけてある。

堀越 百歳にしちゃあ食はいいです。

板倉 うな重あるでしょう？ それ一つ、ぺろっと食べるんです。

堀越 胃腸は丈夫なんだから。元気な頃はいつも二人分食べてたんです。

西脇 それでも太らないですよ。

板倉 その分すぐ出る。

田中 店屋物の丼物は、一つじゃ足らなかったからいつも二つか三つとっていたよ。

堀越 昔ね、おじさんの妹がここに遊びにくると、

に暮らすというのが、長生きの秘訣なんだなあとつくづく思います。

堀越 好きな事してね、好きなもの食べさせてもらっていれば、いいわね。老後はそうなりたい。

田中 したくないことはしない。動物の自然の摂理に反することは……。

生きる楽しみ

――今一番なりたいことは何ですか？

堀越 体さえ自由になれば、どこにでも行きたいよね。紅葉も行きたいし、温泉も行きたいし。

田中 自分の足でどこへでも行かれればね。出かけて行ってね、好きな店行って好きなもの食べたいけどね。今、こんなになっちゃってね。

西脇 じゃあ温泉は訪問メディカル温泉で我慢。

板倉 あとはテレビしかないわね。また将棋でも誰か相手いればね。ここへ来てやっていれば一番いいよね。ただね、ヘボな人じゃだめだね。デイサービスに行っていた時に職員さんが、田中さんの将棋の相手を探してね。デイサービスに来ている人たちは、田中さんは上手だからやりたいんです

けど、田中さんご本人が「こんな下手な人たちと私はやりたくない」ってはっきりおっしゃって。

堀越 日曜日にテレビで将棋の勉強している。

板倉 そのときにヘルパーが来ても、全然介護させてくれない。

堀越 元気な時だってそうだよ。日曜日は来てもらっちゃ困るって。それ楽しみなの。

西脇 テレビのせいで、日曜日のヘルパーの時間を変えたんですよ。将棋

体調には気を使う

堀越 体には本当に気をつけてますね。食事は体にいいものをね。風邪ひけば風邪薬くらいはのむけど薬は飲まない。昨年（十九年）の二月に入院したが、それまで医者にかかったこともない

――今も血圧は正常？

堀越 今はね、一年くらい前に帯状疱疹にかかったから少しは高いのよね。結局体調弱ったんだね

――今も血圧は正常？

堀越 今はね、一年くらい前に帯状疱疹にかかったから少しは高いのよね。結局体調弱ったんだね



インタビューを終えてほっとした田中清三郎さん(左)と甥のお嫁さんの堀越則子さん

堀越さんの 親身な介護

板倉 自分の意思を絶対通すもんね。曲げずにね。でもね、本当は堀越さんいなければ、ひとりやっていけない。やっぱり親戚の方が毎日来てくださるから感謝しているっ

ていってましたよ。

堀越 休憩時間を利用して通っているだけなの。

板倉 毎日食事持ってきてくださるから、私は本当に助かります

西脇 田中さんは今、最先端の在宅医療でこのまま終末期っていうことで、そうなら堀越さんが泊り込みでね。これからの在宅医療のモデルみたいですよ。そうならヘルパーと訪問看護と堀越さんでね、在宅で病院に入院しないで治療をしていく。いざその時になったらまた大変でしょうけどね。

堀越 ヘルパーさんをまた一人増やせばね、

西脇 ヘルパーさんに朝昼晩来てもらって、あとは訪問看護に。限度超えても、その分自費になりますけど、増やせます。

板倉 今は朝と夕方、夜しか入ってないけど。昼間は堀越さん来てくださるし、ずっとついてなくても大丈夫ですからね。

――ヘルパーさんを増やせることできるという制度を伺って安心ですが、まだまだ老後は厳しいものがあります。田中さんが新年の五日に百歳の誕生日を迎えます。おめでたい新年を誕生日ともどもお祝いしたいものです。

新潟県中越沖地震への支援に対して 新潟県より感謝状贈呈される



作業中の当社支援部隊と感謝状

昨年七月十六日に発生しました新潟県中越沖地震では、日本全国から集

まった大勢の支援者やボランティアなどによって、被災地の復旧・復興活動が進められました。さくらメ

計二五四団体とともに感謝状が贈られました。私たちは今後も、一日も早い被災地の復旧・復興をお祈りするとともに、地域福祉の向上に努めてまいります。

【支援活動の内容】

- ① 電動介護ベッド 68台（9施設）
- ② ポータブルトイレ 49台（29施設）
- ③ 車いす 5台
- ④ 訪問入浴車の派遣 計3回
- ⑤ 介護職員の派遣 計16人

さくら メディカル 営業所紹介 その2

新潟支店



私たちは新潟支店の場所は、新潟バイパス女池インター、高速道路中央インター近く位置するため（鳥屋野潟の近く）、幅広い地域の方にもわかりやすく、便利な場所です。平成十七年十月に新潟支店が新社屋としてオープンして以来、年々、社員数が増えて大きく変化し、成長してきました。

現在、支店長はじめ営業グループ十九名、住宅改修課六名、業務課八名、ケアマネージャー五名（居宅介護支援事業所は介護シヨップ新潟店内）で構成されています。私たちの介護保険サービス提供地域は、新潟市をはじめ阿賀野市、阿賀町、加茂市、五泉市、聖籠町、田上町があり、幅広い地域で活躍しています。

新潟支店では、レンタル福祉用具の消毒工程で最新の消毒機器を使用しています。目に見えないサービスではありませんが、病原菌など感染の心配がない安全な福祉用具

新潟ユニゾンプラザ店



新潟市の中心部に位置する新潟ユニゾンプラザ店では、地域に密着したきめ細やかなサービスを心がけています。広々とした明るい店内では、新商品をはじめ多数の福祉用具を実際に見て、触れてお選びいただけます。また、豊富な専門知識を持ったスタッフが商品の

新潟居宅介護支援事業所

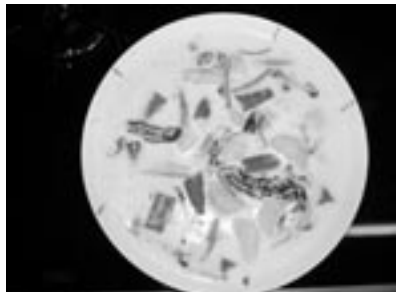


ことばももちろん介護保険制度のご説明など、お客様のご要望に合わせたサービスを提供しています。介護のご相談から真心をもってお客様と向き合い、ご満足のいただけるサービスをご提供いたします。お気軽にご相談ください。

介護簡単メニュー

かぶくずに 疲れた胃に優しい 蕪の葛煮

年末年始にかけ胃に負担をかけています。蕪の葛煮は刺激が少なく、胃酸の分泌をおさえてくれます。クセのない味と柔らかな舌ざわり、栄養豊富な葉も一緒に使って調理しましょう!!



●作り方

- ①カブ（中）1束（4～5個）は皮をむいて6～8等分の櫛型に切る。葉は柔らかい部位を長さ4～5cmに切る。
- ②鍋に水360ccと鶏ガラスープの素スプーン2杯を入れて煮立て、カブと葉を入れて柔らかくなったらかニ風味かまぼこ10本（1袋）を半分に切り、2～3分煮てから牛乳360ccを加えてもう一度煮立てる。
- ③塩・こしょうで味をととのえてから、片栗粉1、水1の割合でうすくとろみをつける。（片栗粉は調理する前にとかしておいた方がまろやかになります）

さくらメディカル訪問介護課 板倉寛子（介護食士）

シヨップ便利用品のご案内

新商品 チャルパー



定価 3,360円（税込）

今回は「ルームシューズ（室内履き）」をご紹介します。

普段、家のなかで何気なく履いているスリッパ、実はとても危険が多いことをご存知でしょうか。

高齢者の転倒・転落の原因を調査すると、全体の半分は家の中で発生しています。さらに、そのうちの約四割は、なんと「スリッパなどの履物が

原因」となっています。今回ご紹介する新商品「チャルパー」は、かわいらしいデザインのルームシューズです。足入れしやすい浅めの踵と脱げにくい形になっています。また、疲れにくいヒール付カップインソールで歩行がとても軽やか。靴底のほどよいすべり止めに、室内でも安心して履きいただけます。雪国では、春を迎えるまでの間、室内での暮らしが中心になります。お気に入りのルームシューズを履き、足元からおしゃれであたたかく安心・快適にお過ごしください。